

クリアな画質の多機能ドライブレコーダー



EX-712HD 取扱説明書



ご購入のお客様へ

この度は、弊社の商品をご購入していただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の際には本書をよくお読みになり、本製品を正しくお使い下さい。
又、お読みになった後は、保証書と共に大切に保管して下さい。

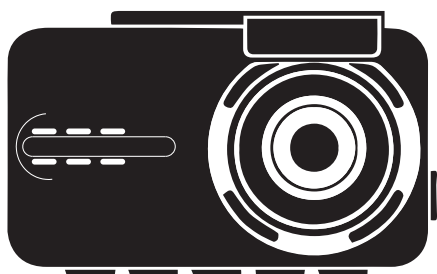
ご使用前に、「安全上のご注意」・「ご使用上のご注意」を
必ずお読みください。

ご使用の前に、「安全上のご注意」「使用上のご注意」「取り付け方」を必ずお読みください。

この度は、ドライブレコーダー『EX-712HD』をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

パッケージの内容

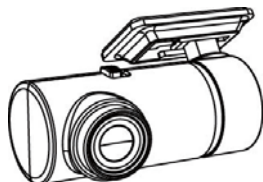
パッケージには次のアイテムが入っています。欠損品目または破損品目がある場合は、ただちに販売店にお問い合わせください。



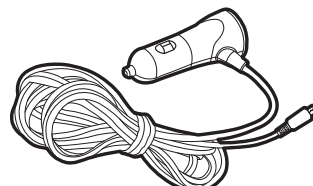
ドライブレコーダー本体
(microSDHCカード入り)



ブラケット



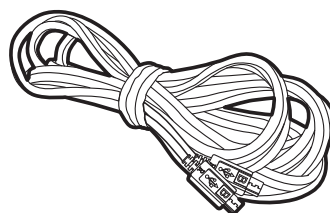
リヤカメラ本体



シガーチャージャー
(電源コード)



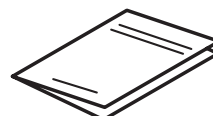
両面テープ



リヤカメラ接続ケーブル



ステッカー



取扱説明書

もくじ

安全上のご注意	4
ご使用上のご注意	6
各部の名称	8
ドライブレコーダーの取り付け方	9~15
取付注意事項	9
メモリーカードの挿入・取出し	10
本体(メインユニット)の取り付け方	11
電源の接続方法	12
リヤカメラの取り付け方	13
ケーブルの接続	14
リヤカメラの設定	15
本製品の電源オン/オフ	16~17
自動電源オン/オフ	16
手動電源オン/オフとリセット	16
アイコンの説明	17
ボタンの説明	17
初期設定	18
日付/時間の設定	18
衛星同期の設定	18
ビデオ録画	19~21
自動録画	19
解像度の設定	19
緊急録画	20
静止画の撮影	21

もくじ

安全運転支援機能	22~27
スピードカメラアラート(オービス警告)	23
制限速度アラート	24
長時間運転アラート	24
追突防止アラート	25
車線逸脱アラート	26
衝突検出	27
駐車モード	28
その他の機能	29
機能チャート画面	29
スピードカメラ位置登録	29
ファイルの再生	30~32
ビデオ再生	30
再生画面	31
ファイルの削除	32
設定メニュー	33~35
再生ソフト(SuperCar)	36
SuperCar(PCビューアー)	37
GPSデータの更新について	38
仕様	39~40

安全上のご注意 ※必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。《危害や損害の程度を区分して、説明しています。》

- 表示内容を無視して誤った扱い方をしたときに生じる損害の程度を次の表示で区分し、説明していきます。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明していきます。



実行

「必ず実行してください」強制です。



禁止


「してはいけない内容」禁止事項です。



警告

安全上のご注意

- 内部に異物が入った・水に浸かった・煙が出ている・変な臭いがする等の場合はすぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店または弊社にお問い合わせください。
- ブラケットおよびドライブレコーダー本体は、保安基準に従って取り付けてください。(事故の原因となる場合があります。)
- 電源コードは確実に差し込んでください。接触不良を起こして発煙・発火等の原因となります。
- 心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様、または持病をお持ちのお客様、妊娠されているお客様等は、医療用機器または体への影響を担当医師にご確認ください。
- 電源コード(12V/24V 車対応)はマイナスアース車専用です。(プラスアース車に使用すると、火災や故障の原因となります)
- コード類を傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。故障や感電の原因となります。
- 運転者は走行中に画面を注視及び操作しないでください。前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。
- ヒューズは必ず指定の物を使用してください。指定以外のヒューズを使用すると異常過熱により発煙・発火等の原因となります。
- microSDHC カードおよびその他の付属品等は、子供の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまう恐れがあります。
- 本製品の本体および付属品を分解または、修理しないでください。感電や故障の原因となります。点検や修理は販売店にご依頼ください。

- 
- 本製品を直射日光が当たる場所や暖房器具の近く等、温度が非常に高い所・湿気やほこりの多い所・油煙の多い所に保管しないでください。変形・変色等を伴う故障の原因になります。
 - 本製品を電子レンジ、オーブン等で、加熱したりしないでください。破裂、発火や火傷の原因となります。
 - 穴やすき間にピンや針金を入れないでください。感電や故障の原因となります。
 - 本製品や付属品の各端子部に異物が入らないように、注意ください。故障の原因となります。
 - 本製品や付属品を濡れた手で触れないでください。感電等の原因となります。
 - 落下など強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
 - 水や海水、その他の液体がかからないように使用してください。発煙・発火等の原因となります。
 - 車両メーカーが指定する禁止エリアに、取り付けや配線をしないでください。車両の安全装置(カメラ・レーダー等)などの動作を妨げるおそれがあり、交通事故の原因になります。車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。
 - エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしないでください。エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで本製品や部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。
 - 視界や運転を妨げる場所、同乗者に危険をおよぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やけがの原因となります。
 - コード類は、運転を妨げないように引き回してください。ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル等に巻きつくと、交通事故や故障の原因となります。
 - 車線逸脱警告・前方衝突警告等は撮影画像により簡易的に行っている楽しむための付随的な機能になりますので、安全運転をアシストする機能ではありません。道路状況や天候・走行状態・設置状態等によって誤動作や動作しない場合があります。これらの機能が動作したか否かに関わらず、事故・怪我・死亡事故等に関して一切その責任を負いません。

ご使用上のご注意



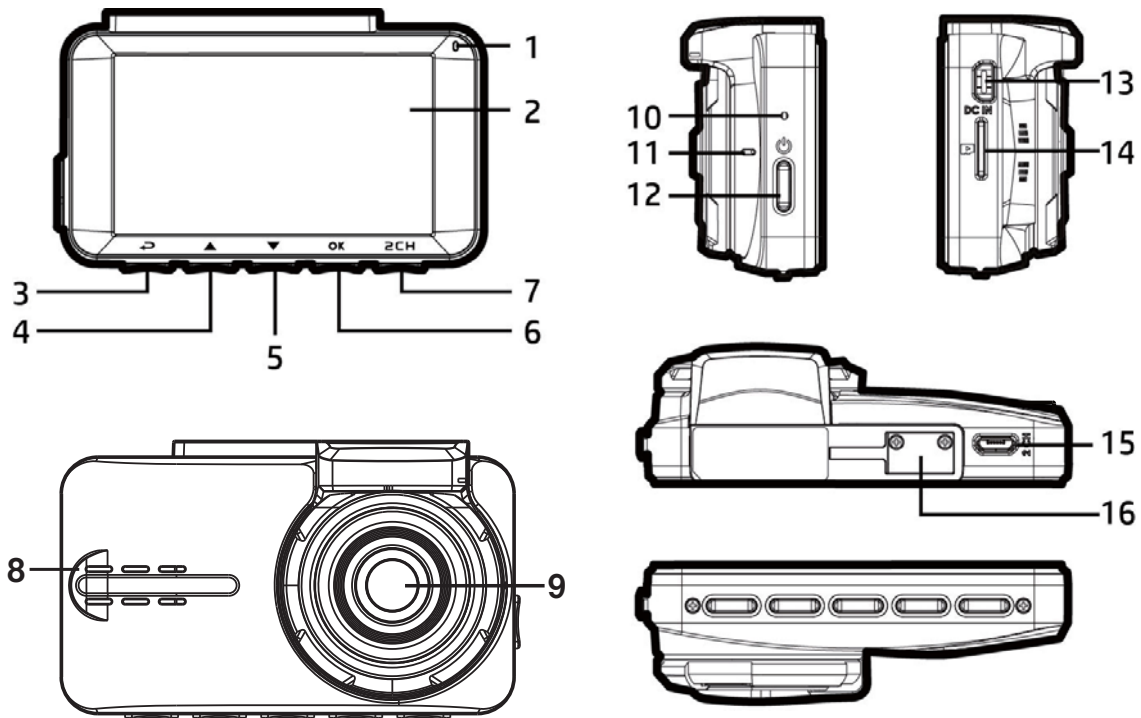
- 本製品は microSDHC メモリーカードを挿入してからご使用ください。メモリーカードなしではご使用できません。
- 本製品で録画した画像は、事故等の証拠効果を保証するものではありません。
- 自動録画は記録を繰り返していますが、全ての場合で録画を保証するものではありません。また事故等の際の記録を保証するものではありません。(保存できない場合もあります)
- 本製品を業務用(バス・トラック・タクシー・商用車等)で使用した場合は保証規定に入りません。
- 本製品の故障や使用状況によって生じた損害、microSDHC のデータ破損、それらによる損害について弊社は、一切その責任を負いません。
- 本製品は日本国内のみで使用できます。
- テレビアンテナ、GPS アンテナの近くには取付けないでください、受信障害になる可能性があります。
- 本製品のオービスポイント案内は取締りの有無を案内するものではありません、オービスの場所を案内したか否かに関わらず、違反等に関して一切その責任を負いません。
- 本製品のオービス案内時に表示される制限速度は、当社が独自に調べたものであり、その道路の制限速度を保証するものではありません。また気象状況や規制により制限速度は変わりますので、現地の標識や指示にしたがって安全な運転を行ってください。
- 車線逸脱警告・前方衝突警告等は撮影画像により簡易的に行っている楽しむための付随的な機能になりますので、安全運転をアシストする機能ではありません。道路状況や天候・走行状態・設置状態等によって誤動作や動作しない場合があります。これらの機能が動作したか否かに関わらず、事故・怪我・死亡事故等に関して一切その責任を負いません。
- 本製品は車載用ドライブレコーダーとして設計されています。それ以外の用途には使用しないでください。
- 本製品を本来の目的以外で使用しないでください。使用方法によってはプライバシーなどの権利を侵害したり、個人情報保護法に抵触する恐れがありますのでご注意ください。これらの場合について、弊社は一切その責任を負いません。
- 事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSDHC カードを抜いて保管してください。
- 本製品の衝突検知、動体検知、衝撃検知はそれらの検知を保証するものではありません。
- microSDHC カードは電源スイッチを OFF にして画面が完全に消えてから抜いてください。microSDHC カードへのデータ書き込み中および読み込み中に microSDHC カードの抜き差しを行うと、データ破損やデータ消失、microSDHC カード故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSDHC カード内に本製品以外のデータを入れしないでください。





- 本製品は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみ等が生じることがあります。また実際の遠近感とも異なります。これらは広角レンズの特性であり、異常ではありません。
- LED 式信号機やLED 表示装置は高速点滅しているため、点滅して撮影される場合がありますが、異常ではありません。
- 逆光や信号機自体の輝度が低い等により、信号機の色が識別できない場合があります。信号機の識別、記録に関する内容について弊社は一切その責任を負いません。
- 本製品の保証対象は本体のみになります。microSDHC カードやその他の付属品は保証対象外となります。
- 安定してご使用いただくため、定期的(1 週間に 1 回程度)に microSDHC カードを本製品の設定メニューからフォーマットすることをお勧めします。
- microSDHC カードはその特性上、データを書き込める回数に制限(寿命)がありますので 1 年前後を目安に新品と交換することをお勧めいたします。また使用状況により寿命が短くなる場合があります。
- 本製品のレンズに指で触れないでください。指の脂がレンズに残り、ビデオ画像やスナップショット画像が不鮮明となる場合があります。
- 液晶ディスプレイは 99.99% 以上の有効な画素がありますが、一部点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。これらは故障ではありません。
- 液晶ディスプレイは周囲の温度が約 75℃以上または約 -10℃以下になると画像が通常と異なる場合がありますが、これは液晶ディスプレイの特性であって故障ではありません。温度が安定すると元の状態に戻ります。
- 本製品を初めてご使用になる場合は、GPS 測位が完了するまでに 20 分以上時間がかかる場合があります。
- フロントガラスが鉄粉入りの熱反射ガラスやメタリックフィルム等を装着している場合は、GPS を測位できない場合があります。
- 走行速度や進行角度、距離、ポイント案内、などの表示は、GPS の電波のみで計測しています。測位状況によっては、表示しない場合や実際とは異なる場合があります。
- GPS 位置測定の精度は天候や高層建築、トンネル、地下、森林などの場所によって変わる場合があります。
- 本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 本製品や付属品の故障および点検等にもなう脱着費用、レンタカー代、電話代、商業損失等につきましては保証期間内・外を問わず一切その責任を負いません。
- 電源の接続は確実に行ってください。(2A 以上を確実に供給できる場所)不確実な接続や接続場所が悪いと電圧の低下や変動により誤動作の恐れがあります。

各部の名称



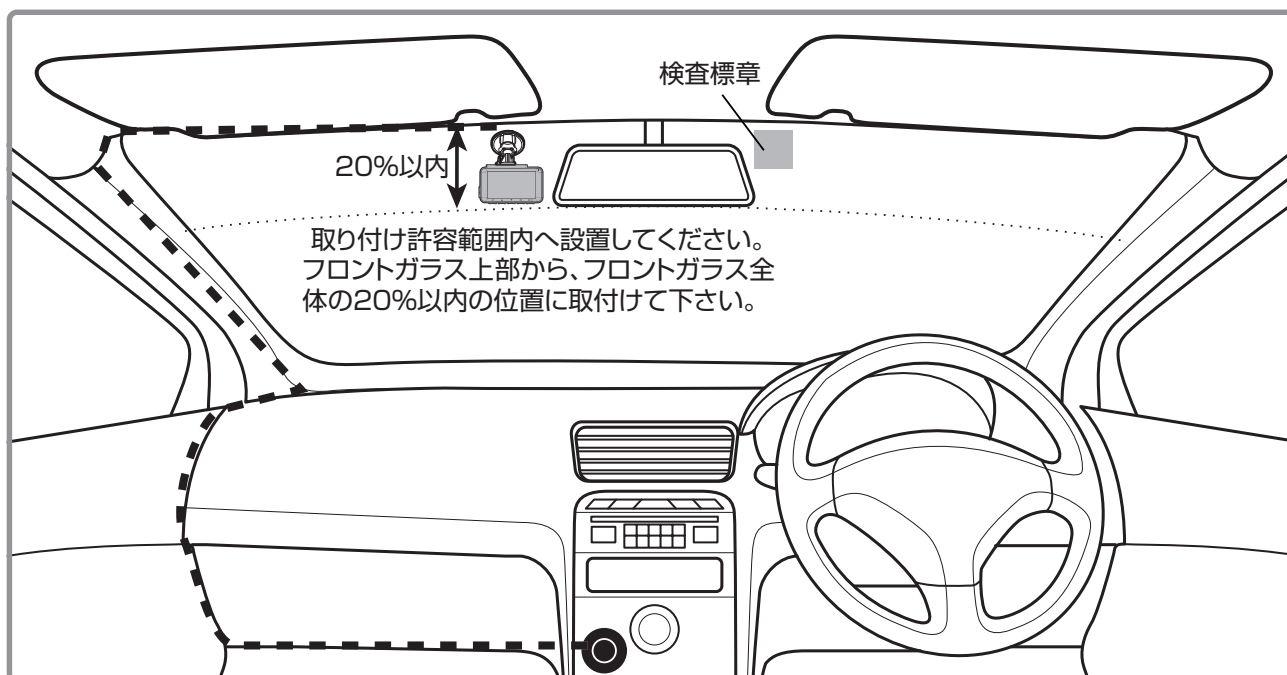
各部の名称

番号	項目
1	LEDインジケータ
2	LCDカラーモニター
3	[戻る]ボタン(⏪ / ⏩)
4	[上]ボタン(⏮ / ⏭)
5	[下]ボタン(📷 / ⏭)
6	[OK]ボタン(⚠ / ⓄOK)
7	カメラ切り替えボタン (🔄 / 2CH)
8	スピーカー

番号	項目
9	広角レンズ
10	リセットボタン
11	内蔵マイク
12	[電源]ボタン
13	USB電源コネクタ
14	メモリーカードスロット
15	リヤカメラ接続ポート
16	ブラケットソケット

性能を十分発揮するために、下記を守って取り付けてください。

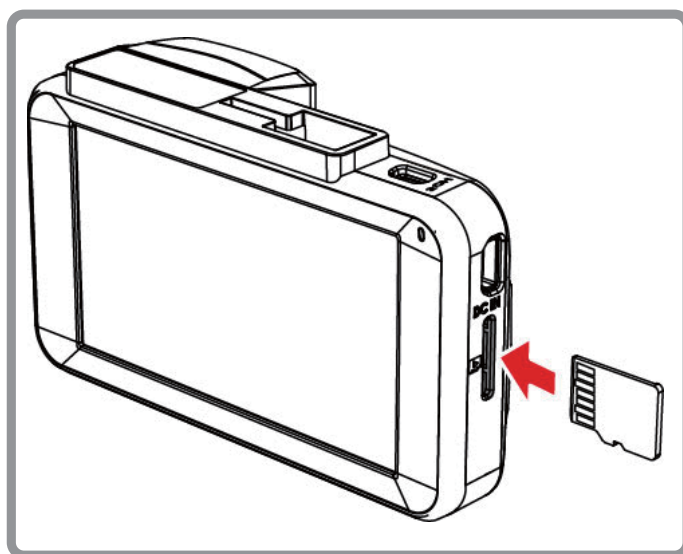
- フロントガラスへの取り付けは、保安基準により設置場所が限定されています。運転者の視界の妨げにならないように、フロントガラス上部より 20% 以内のルームミラーと干渉しない場所に設置してください。
- 検査標章などと重なったり、検査標章などが映らないように取り付けてください。
- 鮮明に録画を行うためにワイパーの稼動範囲に設置することを推奨いたします。
- 地デジ・ラジオや ETC 等のアンテナ近くには本体及び配線を設置しないでください。それらの感度が低下する場合があります。
- 本製品の近くに GPS 受信機能を持つ製品等を設置しないでください。
- フロントガラスのセラミックラインなどが映らないように、取り付けてください。
- 車両安全装置やブレーキアシストシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて、取り付けてください。
- 本機の LED ランプが確認でき、microSDHC メモリーカードを挿入 / 取り出しできる位置に取り付けてください。
- 車両装備品（エアバッグ、その他装備）の動作を妨げないように、取り付けおよび配線を行ってください。
- 鉄粉入りの熱反射ガラスやメタリックフィルム等を装着している場合は GPS を測位できない場合がありますのでご注意ください。



メモリーカードの挿入

図のように、メモリーカードの金色の部分の本機の画面側に向けた状態でカードを挿入します。カチッという音がするまで押し込んでください。

※本機はメモリーカードが挿入されないと動作しません。必ずメモリーカードを挿入の上、ご使用をお願い致します。



メモリーカードの取り出し

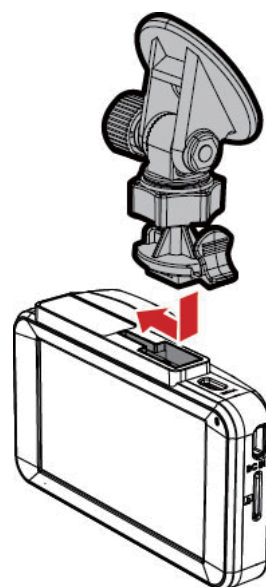
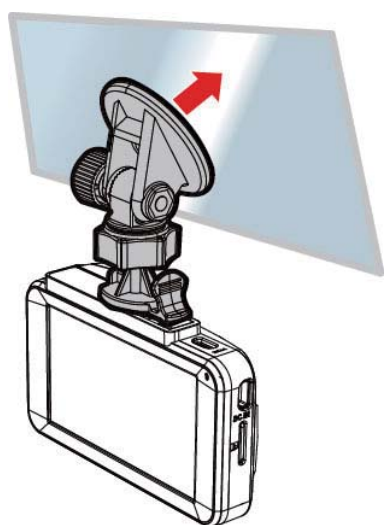
メモリーカードをもう一度押すと、カードがスロットから取り出せます。

⚠ 注意

- メモリーカードを本機から取り出すときは、メモリーカードが素早く排出されますので、なくさないようにご注意ください。
- microSDHC 規格のメモリーカード (Class10 以上 16GB ~ 32GB) を使用してください
- 本製品の電源がオンの時は、メモリーカードの取出しまたは挿入をしないでください。故障の原因となります。
- 初めて使用するとき、またはメモリーカードを交換した時は本機でフォーマットしてください。

本体の取り付け

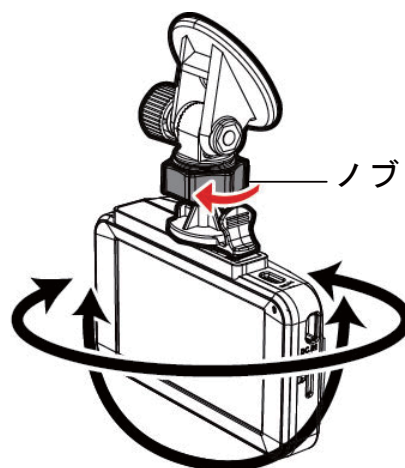
1. 付属のブラケットを本機に取り付けます。
カチッという音が聞こえるまでブラケットホルダーに差し込みます。



2. ブラケットの接着面を、フロントガラスの取り付ける位置に軽く当てます。
3. フロントガラスにブラケットの接着面を押し付けてしっかりと固定します。

ドライブレコーダー本体の位置調整

1. ノブを緩め、本機を垂直または水平方向に回転させ撮影範囲を調整します。
2. ノブを締め、ドライブレコーダーがしっかりと所定の位置で固定されていることを確認します。

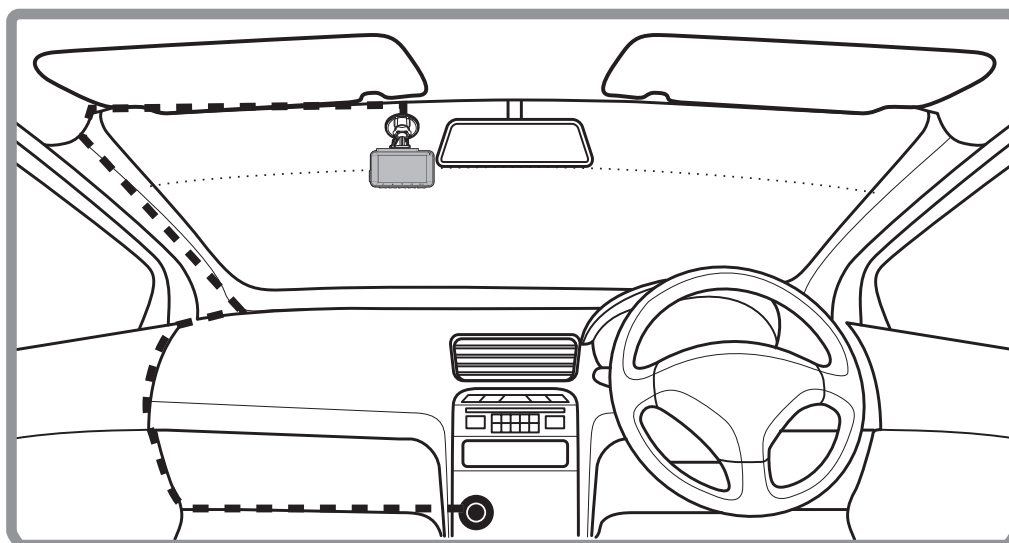


⚠ 注意

本機はルームミラー付近のフロントガラスの中心に取り付けると最適な視界が得られます。車両装備品の動作や運転の妨げにならない位置に取り付けおよび配線を行ってください。

電源への接続

付属しておりますシガーチャージャーをご使用下さい。
シガーチャージャーのプラグを車両のシガーライターソケットに接続してください。
コード類は運転の妨げとならないように、コードクリップなどを利用してください。
(コード類を見えないようにする場合は、ガラスと内張りなどの隙間やパッキン類の隙間に入れてください。)

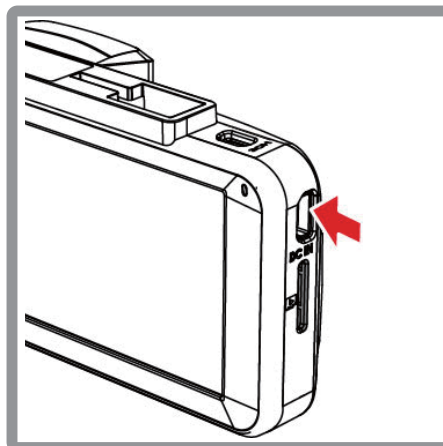


ケーブルは上図を参照して引きまわしてください。

⚠ 注意

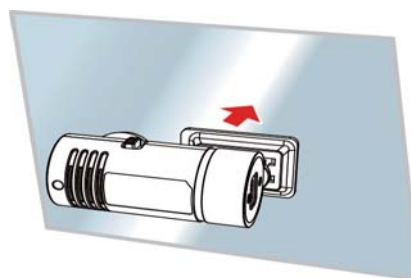
•エアバッグの内蔵されている内張り等の周囲では十分注意して作業してください。また、エアバッグの内蔵されている部品等外さないでください。必要な場合は、必ずカーディーラー等の指示を受けてください。コードを可動部分に挟み込んだり、無理に曲げたりしないように配線処理してください。

配線取り付け後、電源コードの一方の端を本機の USB / 電源コネクターポートに接続します。
USBポート入力: DC 5V / 1A



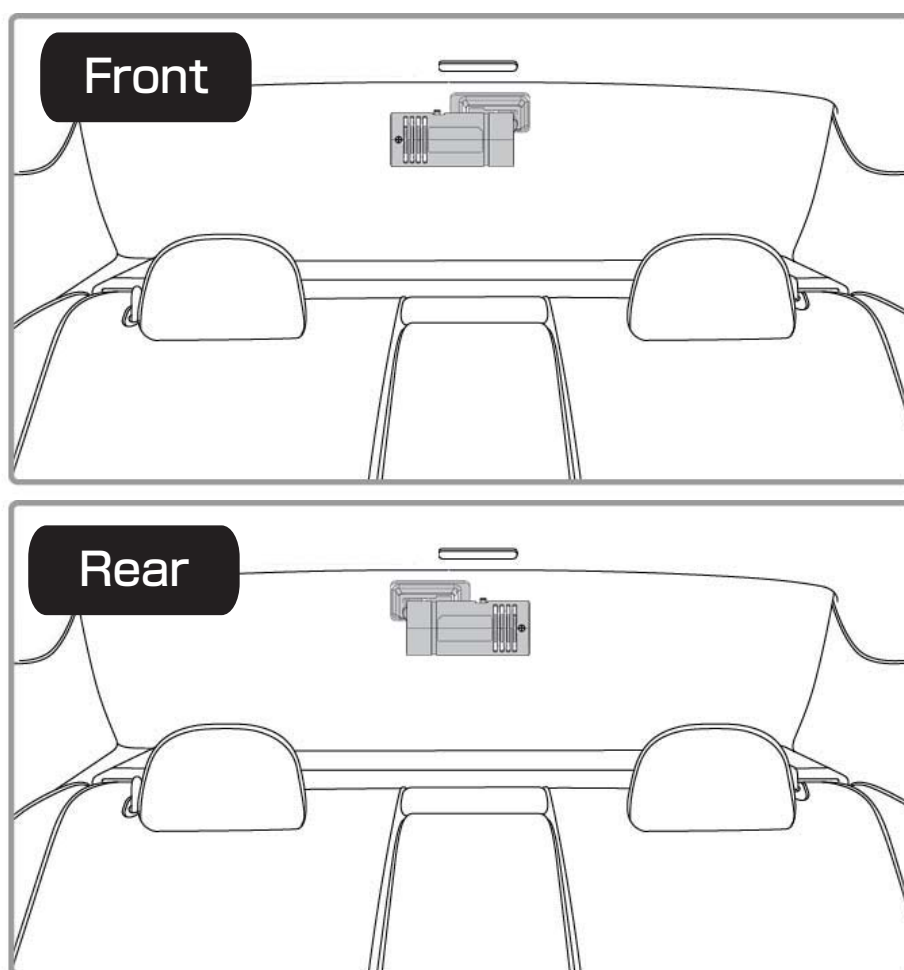
カメラ貼付位置・方向

付属の両面テープを使用して右図のようにリヤガラス中央の上部に張付けてください。



カメラの向きに注意してください

下図は車内からリヤガラスを見た図です
カメラの向きにより、「Front」 / 「Rear」 を切替えてください

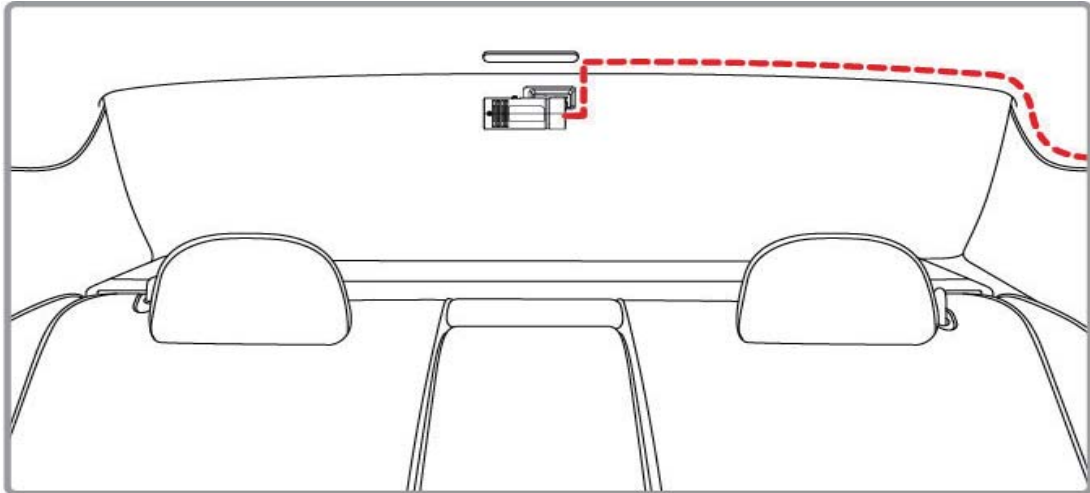


⚠ 注意

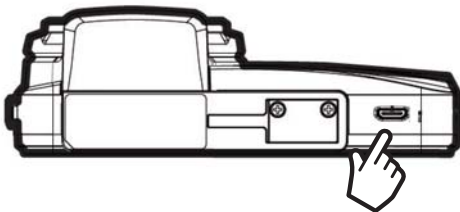
- リヤカメラはリヤガラス中央上部に取付けると良好な画像を録画する事が出来ますが次ページの注意を参照して取付けてください。

ケーブルの接続

付属のmicroUSBケーブルをリヤカメラに接続し、点線のように天井に配線を通してください



メインユニットの図の位置にリヤカメラからのケーブルを接続してください。
※リヤカメラケーブルの接続は本体の電源がオフの時に行ってください。

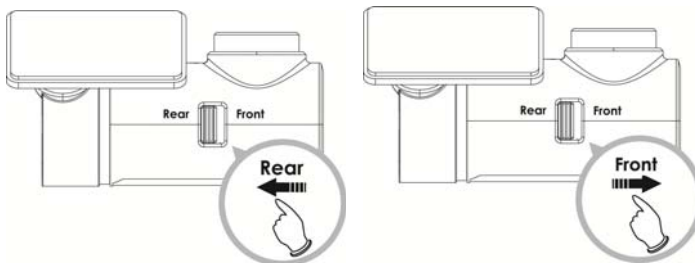


⚠ 注意

- 両面テープは熱線と重ならない位置に張付けてください。
- リヤワイパーの拭き取り範囲内に取付けてください（リヤワイパー装着車）
リヤワイパーの拭き取り範囲外、またはリヤワイパー非装着車に取付けた場合は雨等により録画した画像が不鮮明になることがあります。
- リヤガラスのサンシェード等の装備品の動作に干渉しない位置に取付けてください。
- カメラは防水ではありませんので、必ず車内の濡れない位置に取付けてください。
- リヤガラスにラジオ・地デジ等のアンテナがある場合は、アンテナから50cm以上離れた場所にカメラとケーブルを取付けてください。（受信感度が下がる場合があります）
- プライバシーガラスやフィルムを貼ってある車両の場合、夜間等の暗い場所では録画した画像が暗くなり、見づらくなる場合があります。
- ハイマウントストップランプ等の光の影響を受けにくい場所に取付けてください。
- リヤハッチ車に取付ける場合、配線のかみこみや車両の防水等、十分に注意してください。

カメラの設定

フロントモニターのリヤ画像が上下正常に映るように、リヤカメラの「Front」 / 「Rear」スイッチで切替えてください。



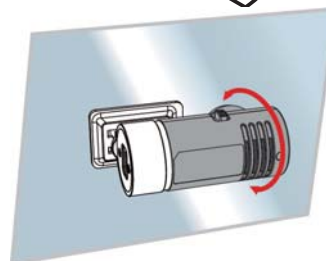
メインユニットの電源を入れると、右下の子画面にリヤカメラの映像が映し出されます。
2CHボタンを押すと子画面とメイン画面を切替えることができます。

フロント+リヤ (サブ) ⇒
リヤ+フロント (サブ) ⇒
フロントのみ⇒リヤのみ
の順に切り替わります。

※電源オン時は、フロント+リヤ (サブ) 画面になります。



モニターの画面を見ながら、リヤカメラを矢印の方向に回して、角度の調整を行ってください。

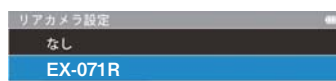


メインユニット側の設定

メインユニットのメニューボタンを押して、メニューから「リヤカメラ設定」を選択します。



メニューから「EX-071R」を選択し、「OK」ボタンを押します。
設定変更後は、電源ボタンで電源を一度オフにし、再起動してください。



⚠ 注意

- 取付・調整後にカメラのレンズを清掃してください。
- リヤカメラの設定変更後は、一度、電源ボタンで電源をオフにしてください。
(設定変更後に接続エラーが出る場合がありますが、故障ではありません。)

電源のオン/オフ

自動電源オン/オフ

エンジンを始動(ACCがオン)すると、本製品の電源が自動的に入り録画・録音を開始します。またACCがオフするとデータを保存後に自動的に電源が切れます。

手動電源オン/オフとリセット

電源オン

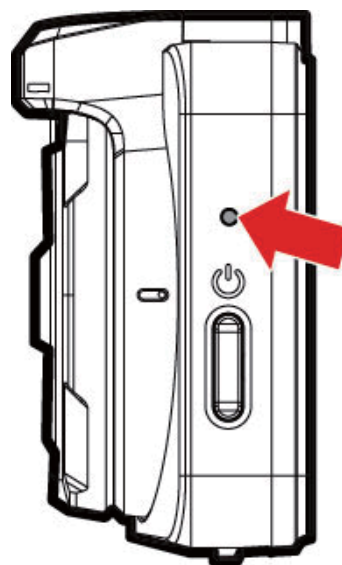
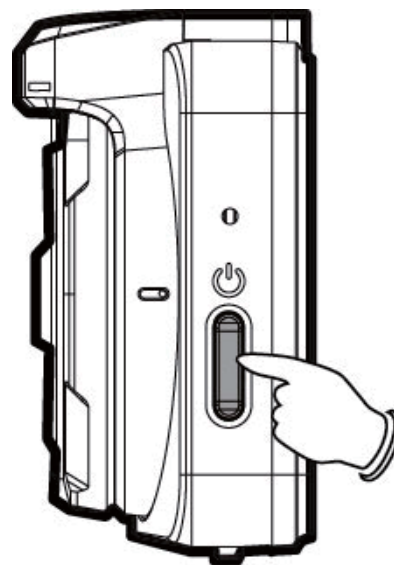
電源スイッチボタンを押すと電源が入ります。

電源オフ

電源スイッチボタンを「長押し」(2秒以上)押すとメモリーカードにデータを保存後に自動的に画面が消えて電源オフの状態になります。

リセット

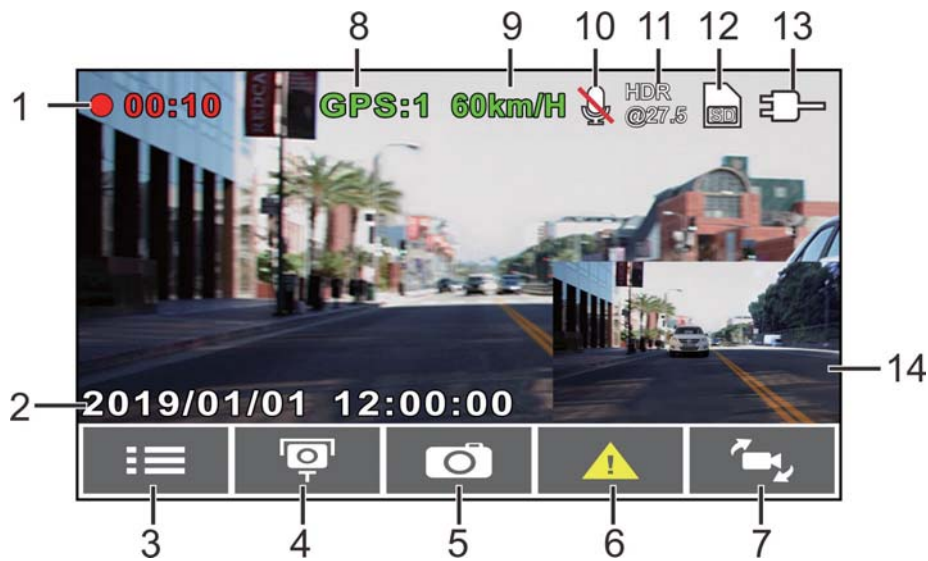
何らかの原因により本製品が通常どおりに機能しなくなった場合、右図矢印部分にピンまたはクリップを差し込んで、リセットボタンを5秒以上押ししてください。その後、電源を入れ直してください。



⚠ 注意

画面点灯中はメモリーカードの取り出しは行わないでください。録画ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。

アイコン・ボタンの説明



番号	項目	説明
1	録画時間	録画時間を表示します
2	日付と時間	現在の日時を表示します
3	ガイドアイコン (メニュー)	☞ ボタンを押すと、メインメニューに入ります
4	ガイドアイコン (スピードカメラ位置登録)	ビデオ録画中、GPS衛星信号を受信できていれば △ ボタンを押してスピードカメラの位置を登録できます
5	ガイドアイコン (静止画)	▽ ボタンを押して、静止画を撮影します
6	ガイドアイコン (緊急録画)	OK ボタンを押して手動で緊急録画を開始します
7	ガイドアイコン (カメラ切り替え)	リアカメラ (オプション) 接続時、 ↔ ボタンを押して、前方の映像と後方の映像を切り替えることができます
8	GPSアイコン	GPSの測位中はアイコンが緑色になります (未測位時は赤色)
9	速度	現在の走行速度 (GPS測位中)
10	録音	音声録音の状態を表示します
11	解像度	現在のビデオの解像度を表示します
12	microSDカード	microSDカード挿入時にアイコンが表示されます
13	電源ステータス	電源コードの状態を表示します
14	リアカメラ画面 (サブ画面)	リアカメラ等の映像を表示します (切替でフロントの画像も表示できます)

初期設定

本製品を使用する前に、正しい日付/時間設定と自動録画・録音設定をすることを推奨します。

日付 / 時間の設定

設定は、以下の手順で行います。

1. 目ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して日時 を選択し、続いて ㊂ ボタンを押して機能メニューに入ります。
3. △/▽ボタンを押して値を調節し、㊂ ボタンを押して次のフィールドを設定します。
4. ステップ3を繰り返して日付と時間の設定を完了します。
5. ㊂ ボタンを押してメニューを終了します。



衛星同期の設定

衛星同期を設定するには、以下の手順に従ってください。

1. 目ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して衛星時刻同期 を選択し、続いて㊂ ボタンを押して機能メニューに入ります。
3. △/▽ボタンを押して【オン】を選択し、㊂ ボタンを押します。
4. ㊂ ボタンを押してメニューを終了します。

⚠ 注意

- 衛星同期がオンの場合、本製品の時刻は、衛星の時刻信号により自動調整されます。
- 工場出荷ではGPS同期に設定してあります。その場合はGPSを受信すると、現在の日付と時間が自動で設定されますので、時刻あわせは不要になります。
- 初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまでに20分以上時間がかかる場合があります。測位の状態は、画面上部のGPSアイコンで確認できます。

自動録画

自動車の ACC がオンになると装置は自動的にオンになり、録画を開始します。
ACC をオフにすると、録画が自動的に停止します。

⚠ 注意

- 一部の自動車ではエンジンが始動しても (ACC がオンになっても) 自動的にオン/オフにならないことがあります。自動車のエンジンとあわせて機器が自動的に電源オン/オフにならない場合、自動車の電源と機器の電源供給を手動で接続するか、機器を手動でオン/オフしてください。
- すべてのビデオおよび画像はメモリーカードに保存されます。メモリーカードが一杯になると、録画はループされ、通常は最も古いビデオファイルから上書きされます。

※リヤカメラが接続・設定されている時はリヤの映像も同様に保存や上書きされます。

解像度の設定


解像度の設定を変更するには以下の手順に従ってください。

1. 目ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △ / ▽ボタンを押して解像度設定を選択し、続いてⓄボタンを押して機能メニューに入ります。
3. △ / ▽ボタンを押して解像度を設定し、Ⓞボタンを押して設定を完了します。
4. ⏪ボタンを押してメニューを終了します。

※工場出荷時：1080P 27.5fps

緊急録画

緊急録画を開始するには、以下のように操作します。

1. ビデオ録画の間、ボタンを押すと緊急録画モードに入り、直後に「緊急録画」メッセージが画面上左隅に表示され、録画ファイルが保護されます。
2. 緊急ビデオ録画の長さは録画・録音間隔設定と同じです。緊急録画の長さが設定した値に達すると、システムは通常の録画モードに戻ります。



注意

緊急録画は専用フォルダ(Event)に保存され、常時録画により上書きされないように保護されます。緊急録画フォルダ(Event)は使用しているmicroSDカード容量の40%を使用します。例えば16GBのmicroSDカードの場合は約6.4GBを緊急録画ファイル用として使用されます。緊急録画フォルダ(Event)がいっぱいの時に、新しい緊急録画ファイルが作成されると一番古い緊急録画ファイルが削除されます。

※リヤカメラが接続・設定されている時はリヤの映像も同様に保存や上書きされます。

静止画の撮影

本機を使用して、写真を撮影することができます。

1. 録画中に▽ボタンを押して静止画を撮影します。
2. スクリーンショットが撮影されたことを示す📷のアイコンが画面中央に表示されます。



⚠️ 注意

スクリーンショットの画像解像度質はビデオ解像度設定により異なります。
リヤカメラが接続・設定されている時は、リヤの画像も同時に撮影されます。

安全運転支援機能（車線逸脱アラート・追突防止アラート・長時間運転アラート・制限速度アラート・スピードカメラアラート等）はあくまでも参照用であり、簡易的に楽しむための付随的な機能です。必ず実際の道路状況に基づいて走行してください。

⚠ 注意

- 安全運転機能が同時に発することができる警告は2種類までです。音声および警告メッセージが同時に発された場合は、どちらかの警告が対処されるまで他の警告は無視されます。
- スピードカメラアラート、スピードカメラ位置登録、制限速度アラート、車線逸脱アラート、追突防止アラートなどの機能はGPS衛星位置測定が完了している必要があります。これらの機能の使用前に衛星による車両位置の特定が完了しているか確認してください。
- 車線逸脱アラート、追突防止アラートの検知は、雨天や夜間などの暗い環境では不正確になる場合があります。ドライバーが、実際の道路状況に基づいて、判断するようにしてください。

スピードカメラアラート(オービス警告)

全国のオービスポイント(スピードカメラの位置)が登録されています。車両がオービスポイントに近づくと音声および画面で警告を行います。この時、制限速度を超えていると、アラームが鳴り警告画面は赤色に変わり、速度を落とすように警告します。

設定は、以下の手順で行います。

1. 目ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して **スピードカメラアラート** を選択し、続いて◎☒ボタンを押して機能メニューを開きます。
3. △/▽ボタンを押して**オン**を選択し、◎☒ボタンを押して機能を有効にします。
4. ⏪ボタンを押して録画画面に戻ります。



※工場出荷時：オン

⚠ 注意

1. スピードカメラアラート機能(オービス警告)はGPSが測位状態の時のみ動作します(トンネル等でGPSが測位できない場合は作動しません)。
2. 本製品のオービス案内はオービスポイントの案内を保証するものではありません。また、取締りの有無を案内するものではありません。オービスポイントを案内したか否かに関わらず、違反等に関して一切その責任を負いません。
3. 本製品のオービス案内時に表示される制限速度は、当社が独自に調べたものであり、その道路の制限速度を保証するものではありません。また気象状況や規制により制限速度は変わりますので、現地の標識や指示にしたがって安全な運転を行ってください。
4. オービス警告時に表示される距離は、GPSの誤差や登録ポイントの場所、走行速度によって、誤差が生じる事がありますが、異常ではありません。
5. スピードカメラアラートは録画中のみ動作します。スタンバイ時等では機能しません。

制限速度アラート

車両が設定した速度を超えて走行すると、ブザー音で速度を落とすように警告します。設定は、以下の手順で行います。

1. 目ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して**制限速度アラート**を選択し、続いて◎☒ボタンを押して機能メニューを開きます。
3. △/▽ボタンを押して[オフ/50~200 km/h]から制限速度警告を設定し、続いて◎☒ボタンを押して設定を完了します。
4. ◀ボタンを押して録画画面に戻ります。

※工場出荷時：オフ

長時間運転アラート

録画開始 1 時間後、および、その後 30 分毎に警告音と画面表示でお知らせします。設定は、以下の手順で行います。

1. 目ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して**長時間運転アラート**を選択し、続いて◎☒ボタンを押して機能メニューを開きます。
3. △/▽ボタンを押して**オン**を選択し、◎☒ボタンを押して機能を有効にします。
4. ◀ボタンを押して録画画面に戻ります。

※工場出荷時：オフ

注意

制限速度警告は GPS が測位状態の時のみ動作します(トンネル等で GPS が測位できない場合は作動しません)。

追突防止アラート

時速 60 km/h以上の速度で走行中に、前方の車両との距離が近づいた時に警告音と画面表示でお知らせします。設定は以下の手順で行います。

設定は、以下の手順で行います。

1. 目ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して **追突防止アラート** を選択し、続いて◎☒ボタンを押して機能メニューに入ります。
3. △/▽ボタンを押して**オン**を選択し、◎☒ボタンを押して機能を有効にします。
4. ⇐ボタンを押して録画面面に戻ります。

※工場出荷時：オフ


⚠ 注意

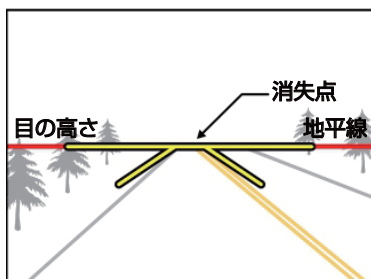
- 追突防止アラートは、GPS が測位状態でのみ動作します(トンネル等で GPS が測位できない場合は動作しません)。
- 追突防止アラートは撮影画像により簡易的に行っている楽しむための付随的な機能になりますので、安全運転をアシストする機能ではありません。道路状況や天候・走行状態・設置状態等によって誤動作や動作しない場合があります。これらの機能が動作したか否かに関わらず、事故・怪我・死亡事故等に関して一切その責任を負いません。
- 天候や路面状況、走行状態、設置状態等によって、案内をしない場合や意図しない場面で案内をする場合がありますが、故障ではありません。

車線逸脱アラート

時速 70km/時以上の速度で走行中に車線を変更する際、画面表示でお知らせします。

設定は、以下の手順で行います。

1. 目ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して車線逸脱アラートを選択し、続いて⊕ボタンを押して機能メニューに入ります。
3. △/▽ボタンを押してオンを選択し、⊕ボタンを押して機能を有効にします。
4. ⏪ボタンを押して録画画面に戻ります。
5. 車線逸脱アラートを有効にすると、通常画面にて、位置あわせのアイコン  が表示されます。位置あわせのアイコンが下図のようになるようにドライブレコーダーの角度を取付け時に調整してください。



※工場出荷時：オフ

⚠ 注意

- 車線逸脱アラートは、GPS が測位状態でのみ動作します（トンネル等で GPS が測位できない場合は動作しません）。
- 車線逸脱アラートは撮影画像により簡易的に行っている楽しむための付随的な機能になりますので、安全運転をアシストする機能ではありません。道路状況や天候・走行状態・設置状態等によって誤動作や動作しない場合があります。これらの機能が動作したか否かに関わらず、事故・怪我・死亡事故等に関して一切その責任を負いません。
- 天候や路面状況、走行状態、設置状態等によって、案内をしない場合や意図しない場面で案内をする場合がありますが、故障ではありません。
- ドライバーの視界を遮らないようにバックミラーの下に設置します（フロントガラスの中央上部）ビデオ画面に空と地面が 50% ずつ映るようドライブレコーダーを調整し、位置合わせアイコンを車線と揃えてください。機器が最大限の効果を発揮し、車線逸脱アラートの精確性を高めるには、正しい設置が不可欠です。
- 位置合わせアイコンが他の物体（ボンネットなど）に遮られないよう注意してください。

衝突検出(Gセンサー)

衝突検出機能が有効な場合、衝突が検出されると機器は緊急録画を開始します。

設定は、以下の手順で行います。

1. 目ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して**Gセンサー** を選択し、続いて◎☒ボタンを押して機能メニューに入ります。
3. △/▽ボタンを押して、機器の衝突検出感度（高感度/標準感度/低感度/オフ）を変更します、◎☒ボタンを押して設定を完了します。
4. ☞ボタンを押して録画面面に戻ります。

※工場出荷時：標準感度

⚠ 注意

緊急録画は専用フォルダ(Event)に保存され、常時録画により上書きされないように保護されます。緊急録画フォルダ(Event)は使用しているmicroSDカード容量の40%を使用します。例えば16GBのmicroSDカードの場合は約6.4GBを緊急録画ファイル用として使用されます。緊急録画フォルダ(Event)がいっぱいの時に、新しい緊急録画ファイルが作成されると一番古い緊急録画ファイルが削除されます。

衝突検知機能は車両衝突や事故を検知することを保証する機能ではありません。

※リヤカメラが接続・設定されている時はリヤの映像も同様に保存や上書きされます。

駐車モード

駐車モード

※別売オプション電源が必要です。

駐車時に車両を監視するには、「パーキング録画」「衝撃検知」「タイムラプス」のいずれかを有効にします。

設定は、以下の手順で行います。

1. 目ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して**駐車モード**を選択し、続いてOKボタンを押して機能メニューに入ります。
3. △/▽ボタンを押して駐車モードを設定し、OKボタンを押して設定を完了します。

※工場出荷時：オフ

パーキング録画

取付したスイッチを押してから、車両のACC電源が切れると、画面に「10秒後に駐車録画モードになります。OKを押すと電源が切れます。」というメッセージが表示され、10秒後にパーキング録画モードへ自動的に入ります。このモードでは、常時録画と同様の録画を行います。録画ファイルは通常録画のファイルとして保存されますが、ファイル一杯の場合は上書きされます。衝撃を検知した場合は緊急録画と同様の保存になります。

※動作時間はオプション電源で設定を行います。

衝撃検知

取付したスイッチを押してから、車両のACC電源が切れると、画面に「10秒後に駐車録画モードになります。OKを押すと電源が切れます。」というメッセージが表示され、10秒後に振動検知モードへ自動的に入ります。このモードでは、振動を検知した場合に録画を開始し、緊急録画のファイルとして保存されます。

※動作時間はオプション電源で設定を行います。

タイムラプス

取付したスイッチを押してから、車両のACC電源が切れると、画面に「10秒後に駐車録画モードになります。OKを押すと電源が切れます。」というメッセージが表示され、10秒後にタイムラプスモードへ自動的に入ります。このモードでは、1秒ごとに1フレームの録画を行います。

※約30分間を1分の動画ファイルに記録します。

※動作時間はオプション電源で設定を行います。

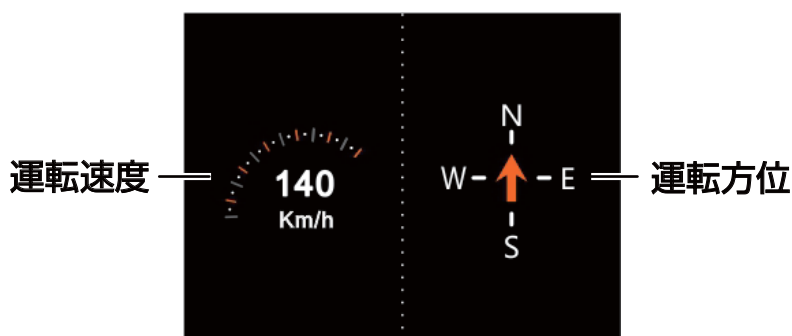
⚠ 注意

- 駐車モードを使用するにはオプション電源が別途必要になります。
- 駐車モードの録画は、車両へのイタズラや当て逃げ等の録画を保証するものではありません。
- 駐車モードの動作時間の設定は、オプション電源で行います。

機能チャート画面

録画中に、電源ボタンを押すと、機能チャート表示に切り替えて車両情報を確認することができます。

電源ボタンを再度押すと、録画面面に戻ります。



⚠ 注意

GPS 衛星信号が受信されていない場合は、正常に動作しません。

スピードカメラ位置登録

ユーザーが任意の場所でオービスカメラの位置を追加登録することができます。

登録したいカメラ位置を通過時に △ ボタンを押して速度カメラ位置を登録します。

本機ではオービス位置を 200 ヶ所まで保存することができます。これを超過して保存を試みると、「位置登録がいっぱいです」メッセージが表示され、追加登録はできません。

⚠ 注意

- GPS が測位状態でのみ登録ができます。
- 追加登録したオービス位置は、設定メニュー（スピードカメラ位置登録）内の「全登録削除」を選択して手動で削除することができます。
- 追加登録したオービス位置を通過時には、制限速度表示はされません

ビデオ再生

録画ファイルは次のように再生します。

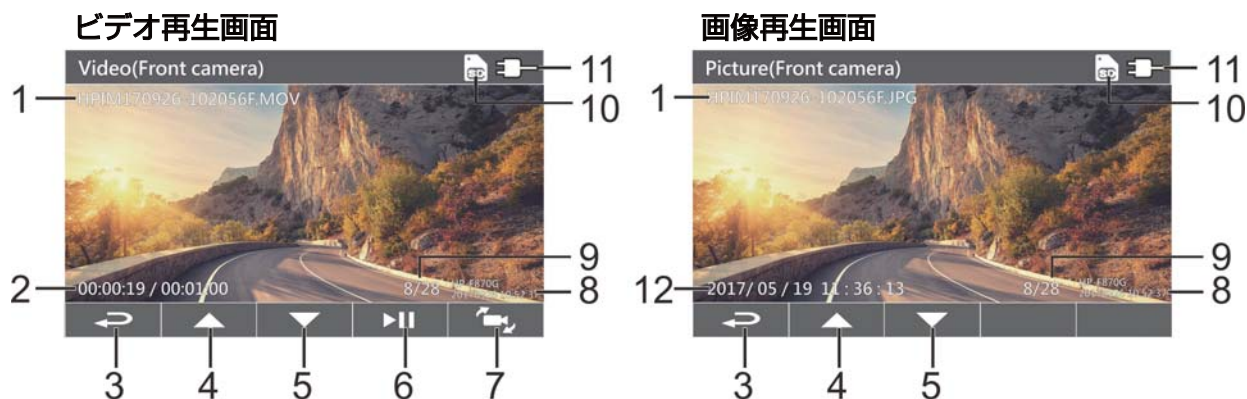
1. 設定ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して**ファイル再生** を選択し、続いて⊕ボタンを押して機能メニューに入ります。
3. △/▽ボタンを押して**前方録画/後方録画/前方緊急録画/後方緊急録画/前方静止画/後方静止画** を選択して機能メニューに入ります。
4. △/▽ボタンを押してビデオファイルを閲覧し、ビデオファイルを選択して⊕ボタンを押して**再生モード**に入ります。
5. 録画面面に戻るには ⏪ を繰り返し押します。

前方録画	フロントカメラの常時録画、および駐車モード時の動体検知ファイルが保存されています。
後方録画	リヤカメラの常時録画、駐車モード時のフロントカメラで動体検知した場合のリヤの録画ファイルが保存されています。 ※リヤカメラ接続時のみ
前方緊急録画	フロントカメラの緊急録画、および駐車モード時の衝撃検知ファイルが保存されています。
後方緊急録画	リヤカメラの緊急録画、駐車モード時のフロントカメラで衝撃検知された場合のリヤの録画ファイルが保存されています。 ※リヤカメラ接続時のみ
前方静止画	フロントカメラの静止画のファイルが保存されています。
後方静止画	リヤカメラの静止画のファイルが保存されています。 ※リヤカメラ接続時のみ

⚠ 注意

後方録画、後方緊急録画、後方静止画のファイルはリヤカメラを取付・設定した場合のみに録画されます。リヤカメラを接続・設定していない場合でもフォルダーの表示はされます。

再生画面



番号	項目	説明
1	ファイル名	ファイル名
2	再生時間	ファイルの録画時間
3	ガイドアイコン (戻る)	◀ ボタンを押してファイル選択の表示に戻ります
4	ガイドアイコン(前)	▲ ボタンを押して前の録画/静止画を表示します
5	ガイドアイコン(次)	▼ ボタンを押して次の録画/静止画を表示します
6	ガイドアイコン (再生)	OK ボタンを押して録画/静止画を再生します
7	カメラ切り替え	リヤカメラ (EX-071R) 接続時、🔄 ボタンを押して、前方の映像と後方の映像を切り替えることができます
8	日付と時間	録画/撮影した日付と時間 (映像上に記録されています)
9	ファイル番号	現在再生中のファイルと、ファイルの合計数
10	microSDカード	microSDカード挿入時にアイコンが表示されます
11	電源アイコン	電源の状態を表示します

ファイルの削除

ファイルを削除するには、次の手順に従ってください。

1. 目ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して**ファイル削除**を選択し、続いてⓈボタンを押して機能メニューに入ります。
3. △/▽ボタンを押して**前方録画/後方録画/前方緊急録画/後方緊急録画/前方静止画/後方静止画**から択し、Ⓢ ボタンを押してメニューに入ります。

1ファイル削除

△/▽ボタンを押して**1ファイル**を選択し、Ⓢボタンを押してメニューに入ります。

△/▽ボタンを押してファイルを閲覧し、削除したいファイルを選択してⓈボタンを押しメニューに入ります。

△/▽ボタンを押してアイテムを選択し、続いてⓈ/⏪ボタンを押して確定するかあるいは選択をキャンセルします。

すべて削除

△/▽ボタンを押して**すべて削除**を選択し、Ⓢボタンを押してメニューに入ります。

△/▽ボタンを押してアイテムを選択し、続いてⓈ/⏪ボタンを押して確定するかあるいは選択をキャンセルします。

4. 録画面に戻るには ⏪を繰り返し押します。

⚠ 注意

削除されたファイルは復元できません。削除の前に必ずファイルをバックアップしてください。

設定メニュー

メニューの使用

設定メニューから、各設定をカスタマイズできます。

1. 目ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押してメニュー項目を選択し、続いて◎☒ボタンを押して機能メニューに入ります。
3. △/▽ボタンを押して、値を選択または調整し、◎☒ボタンを押して設定を確認します。
4. ◀ボタンを押して録画面面に戻ります。

メニュー項目	説明	設定内容	初期設定
リヤカメラ設定	リヤカメラの設定を選択します。	なし/EX-071R	EX-071R
ファイル再生	再生するファイルのフォルダーを選択します。	前方録画 後方録画 前方緊急録画 後方緊急録画 前方静止画 後方静止画	
衛星信号ステータス	現在の衛星信号受信状態を表示します。		
衛星時刻同期	衛星の時刻に自動的に同期します。 この機能がオンになっている時は、衛星の時刻が使われ、手動で時刻を変更することはできません。	オン/オフ	オン
速度単位	速度表示の単位を選択します。	km/h / mph	km/h
スピードカメラアラート	本体に登録されているスピードカメラ(オービス)の位置に近づくとお知らせします。	オン/オフ	オン

設定メニュー

メニュー項目	説明	設定内容	初期設定
スピードカメラ 位置登録	登録: 手動でスピードカメラの位置を登録します (GPSが測位中のみ可能) 全登録削除: 手動で登録したスピードカメラの 位置をすべて削除します(工場に登録されて いる位置は削除されません)	登録 全登録削除	
制限速度 アラート	設定した速度を、車の速度が超えると警告音 とメッセージでお知らせします。	オフ/50km~200km	オフ
日時	日時と時刻を設定します		
日時表示	録画映像への日時表示の設定をします。	オン/オフ	オン
WDR	高コントラスト、明るさの落差が激しい環境で ディテールを良くすることができます。 画像が少し粗くなり、チラつく場合があります。	オン/オフ ※フロントカメラのみ	オフ
解像度 + ナイトモード	フロントカメラのビデオの解像度とモード の設定をします。 右記の4つのモードを選択できます。 ・撮影する条件によってフレームレートは変動します。 ・1080p/27.5fpsHDR&NIGHTMODEは撮影条件により自動で 切り替わります。 ・ナイトモードは暗い場所の際、自動でフレームレートを調整して 録画します。	1080p/27.5fps 1080p/27.5fpsHDR WDR 1080p/27.5fpsNIGHTMODE 1080p/27.5fpsHDR&NIGHTMODE リアカメラは1080p/25.0fps固定	1080p/27.5fps HDR WDR
明るさ	露出補正の設定をします。	露出値の補正を行います。 +2.0~-2.0 ※フロントカメラのみ	±0
LCD設定	電源を入れてから自動的にLCDモニターの表 示をオフにする設定をします。	オン(常にモニターは表示し ます)/7秒後にオフ/1分後に オフ/3分後にオフ	オン
音声録音	ビデオの音声録音を設定します。	オン/オフ	オン
操作音	操作音の設定をします。	オン/オフ	オン

設定メニュー

メニュー項目	説明	設定内容	初期設定
音量	音量の設定をします。	0～10	3
駐車モード	駐車中の録画の設定をします。 ※別売電源が必要です	オフ/パーキング録画/衝撃検知/タイムラプス	オフ
Gセンサー (衝突検出)	Gセンサーの有効/無効と検出の感度を設定します。	オフ/高感度/標準感度/低感度	標準感度
長時間運転アラート	録画開始1時間後、およびその後30分ごとに警告音と表示でお知らせします。	オン/オフ	オフ
車線逸脱アラート	70km以上で運転中、車線を変更する際、警告音と表示でお知らせします。	オン/オフ	オフ
追突防止アラート	60km以上で運転中、前の車との距離が一定以下になると、警告音と表示でお知らせします。	オン/オフ	オフ
ファイル削除	記録したファイルを削除します ※削除したファイルは復元することが出来ません。	前方録画 後方録画 前方緊急録画 後方緊急録画 前方静止画 後方静止画	
フリッカレス	LED信号機等のちらつきを軽減します。 東日本では50HZ、西日本では60HZに設定してください。	50HZ/60HZ	50HZ
SDカード初期化	マイクロSDカードのフォーマットをします。 記録されたすべての画像が削除され、復元することが出来ませんのでご注意ください。	はい/いいえ	いいえ
設定初期化	本器の設定を工場出荷の状態に戻します。	はい/いいえ	いいえ
ファームウェアバージョン	ファームウェアのバージョンを表示します		

再生ソフト(SuperCar)について

専用の再生ソフト (SuperCar) をパソコンにインストールして使用すると、フロントとリヤの再生を同時に確認することが出来ます。また、GPS の記録から再生している場所を地図上に表示することもできます。

再生ソフトは「www.j-e-s.co.jp」の製品サポートページからダウンロードしてください。

PC ビューアー (SuperCar) をクリックし、画面の指示に従ってインストールしてください。

注意

SuperCar ソフトウェアは Windows7 以降のコンピューターのみに対応です。

SuperCar(PCビューアー)

各部の名称と機能



番号	項目
1	前方録画
2	再生/一時停止
3	戻る
4	次へ
5	停止
6	E-Map
7	方位
8	速度計

番号	項目
9	ファイルパス
10	ブラウザーファイル
11	ファイルリスト
12	後方録画
13	音量
14	現在の時間/合計時間
15	Gセンサー

操作手順 (例：通常録画を再生する場合)

1. 本体の microSD カードをパソコンのドライブに接続します。
(フォルダー名やファイル名は変更しないでください)
2. パソコンから microSD カードを接続したドライブを選択し、「Normal」フォルダーを開き、「F」フォルダーを開きます。
3. 「F」フォルダーにある再生したい「MOV」ファイルを選択し、SuperCar のファイルリストにドラッグ&ドロップします※「F」フォルダーには位置情報等のファイル (NMEA) もありますが、動画は MOV ファイルです)
4. SuperCar のファイルリストから再生したいファイルをダブルクリックすると再生を始めます。
※この時に関連のあるリア画像がある場合は同時に再生します。

- E-Map に経路を表示するには、ビデオの再生を始める前にインターネットに接続する必要があります。
- 録画ファイル (MOV/TS) と GPS/G センサーファイル (NMEA) は再生を始める前に同じフォルダーに保存する必要があります。
- ファイル名はフォルダー名を変更すると正常に再生できなくなりますので、ご注意ください。
- SuperCar ソフトウェアは Windows7 以降のコンピューターのみに対応です。
- フロントとリアの再生動画に多少のズレがありますが故障ではありません。

ファームウェアの更新について

更新データダウンロード方法

1. <http://www.j-e-s.co.jp/> にアクセスします。
2. **EXZA** のページより対象ファイルをダウンロードしてください。

※対応環境についてはサイトの【対応パソコン】の記載をご確認下さい。

データ更新方法

1. ダウンロードしたデータをドライブレコーダーから外した microSD カードにコピーします。
2. microSD カードをメモリースロットに戻し、電源をオンにすると、更新中であることが表示され、自動的に更新されます。
更新終了後は自動的に電源が切れます。

注意

- ①ファームウェアの更新には、数分程度かかります。必ず電源アダプターから電源が供給されている状態で行ってください。また、更新中は絶対に電源を切らないでください。
- ②メモリーカードを本機から取り出すときは、メモリーカードが素早く排出されますので、なくさないようにご注意ください。
- ③ファームウェアの更新を行うと、各設定は初期設定に戻ります。またご自身で登録したスピードカメラのポイントも消えます。
- ④本製品の電源がオンの時は、メモリーカードの取出しまたは挿入をしないでください。故障の原因となります。

仕様 (フロントカメラ)

項目	説明
イメージセンサー	1/2.8 インチ SONYセンサー
有効ピクセル数	約 200万画素
ストレージメディア	Class10以上のmicro SDHC8GB ~ 32GB までサポート
LCD ディスプレイ	3 インチ IPSカラーモニター
レンズ	広角固定フォーカスレンズ F1.9
HDR / WDR	あり (フロントカメラのみ)
フォーカス範囲	1.5m ~無限
録画解像度	解像度: 1080p/27.5fps (ノーマル/ HDR) ※リアは1080p/25fps
ファイル形式	MOV / JPEG
G センサー	あり
ISO	自動
ホワイトバランス	自動
マイクロフォン	あり
スピーカー	あり
バッテリー	— (スーパーキャパスター内蔵)
消費電流	7W
インターフェイス	Micro SDHC
電源電圧	DC12V / 24V
測位システム	GPS
寸法	87.5 x 53.5x 28.5 mm (付属品含まず)
重量	約 89g (付属品含まず)

仕様 (リヤカメラ)

項目	説明
イメージセンサー	1/2.9型CMOSセンサー
有効画素数	1920 (H) x 1080 (V)
レンズ	広角絞り固定レンズ F2.0, f=3.8mm
ピント範囲	1.5m ~ 無限
サイズ	58 x 33.5x 32 mm (付属品含まず)
重量	約20g (付属品含まず)

メモ

保証規定

1. 保証期間内に、製造上の理由により不具合が生じた場合は、無償修理もしくは、代替の製品を用意させていただきます。 ※作業費用等は、お客様の負担となります。
2. 本製品は持込修理となっております、修理や点検にともなう脱着等の費用・レンタカー代・輸送費等はお客様の負担となります。
3. 保証書のないもの、各記入事項欄に欠落、または無記入欄のある保証書は無効となりますので、保証対象外とさせていただきます。
4. 保証期間内であっても次に当てはまる場合は保証対象外（有償修理）になります。
 - 取り付けの不備による故障、損傷等
 - 本製品の不適合車種へ取り付けされた場合
 - 不正改造等による故障、損傷等
 - 天災（地震・落雷・火災・水害）等による故障、損傷
 - 交通事故による故障、損傷
 - 消耗品等の損傷、またはそれによる故障
 - 製品・部品・付属品を紛失された場合
 - 各説明書の注意点に従って使用しなかった場合
 - 保証書の無提示
 - 他社製品等の取り付けによる故障、損傷
 - お買上げ後の輸送、移動、落下等による故障、損傷
 - 盗難による破損、または故障
 - 外的要因による破損や変形がある場合
 - 購入日の確認の取れる書類（レシート又は領収書）の提示がない場合
 - トラック・バン・タクシーなどの商用車両及び商用目的の車両に取り付した場合及びサーキット走行等
5. 保証対象は消耗品を除く本体のみになります。
(メモリーカード・ブラケット等の付属品は消耗品となりますので、保証対象外となります。)
6. この保証規定は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)



ドライブレコーダー保証書

この保証書は裏面の「保証規定」に基づき、無償修理を行うことをお約束するものです。本書の再発行は出来ませんので、大切に保管してください。

品名		EX-712HD
ご購入日	年 月 日	保証期間：ご購入日より1年間 (本体のみ対象となります)
お名前		
ご住所		
電話番号		
販売店(店名・住所)		

<p>Model No.</p> <p>Serial No.</p>
